



# 社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの  
ご相談はご遠慮なくどうぞ  
町内35-1270

地域福祉権利擁護事業

## 日常生活に不安は ありませんか？

認知症・知的障がい・精神障がいなどがあるために判断能力が不十分であり、日常生活に不安があるという人を対象に、社会福祉協議会が行っている地域福祉権利擁護事業をご紹介します。

### ▼このような事でお困りでないですか？

- ホームヘルパーやデイサービスなど、福祉サービスを利用したいが、相談する人がいない。
- 年金や生活保護費などをすぐに使い切ってしまう。また、そのために公共料金や家賃を支払えなくなってしまう。
- 介護保険や年金などの通知やその他の郵便物が来ても、内容がよくわからない。また、手続きがわからない。
- 物忘れなどで通帳などの大切なものをどこにしまったか、わからなくなってしまう。また、再発行を何度も繰り返している。自分で保管しておくのが心配である。
- 訪問販売の被害に何度もあっており、断りきれない。その支払いにも困っている。

### ▼事業の内容

上記に示したようなお困り事で悩んでいる場合、生活支援員が自宅を訪問し、相談に応じて次の4点について援助します。

- ①福祉サービスを利用したり、やめたりすること
- ②日常的な金銭管理（金融機関での手続き、お金のお届けなど）
- ③大切な書類などの預かり
- ④定期的な訪問による生活状況の把握

※これらはご本人との「契約」により、社会福祉協議会が責任を持って手続きや支払いの代行などを行います。

### ▼利用料

1回1時間900円

※以降、30分毎に450円加算されます。

※非課税世帯は無料です。

## 九州社会福祉協議会連合会長表彰 平田恵美子さんに会長表彰

苓北町民生委員児童委員協議会（苓北町民児協）の平田恵美子委員が令和2年度九州社会福祉協議会連合会の会長表彰を受賞されました。これは長年にわたり民生児童委員としての業務に従事した功績が称えられたもので、11月4日に開催された社会福祉協議会の定例会で、苓北町民児協の時尾継光会長から平田委員へ表彰状の伝達が行われました。



苓北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』を紹介します。

# 輝いています！ たっしゃかもん

No.235

物の収集が楽しみです。  
歴史語りに欠かせません！

## 平田 豊貴さん

（昭和12年3月17日生まれ）満83歳 八区在住

### 問 好きな食べ物

食べ物のほとんどは魚類が良くて、肉より魚を食べますね。あと、長命草を取ってきて、刻んだものに魚の粉とかをかけて食べるのが好きです。

### 問 好みの女性のタイプは

よく話を聞く耳を持っている人が良いです。話が通じないことは心も通じないので、顔よりも中身だと思います。

### 問 私の趣味

物の収集が楽しみで、海に行ったりすると、がれきの中から気に入った貝殻等を拾ってきます。貝殻がたとえ割れていても、洗って磨いてきれいにします。それを見ると、地域がどういう所なのか歴史などを知ることができますね。

### 問 私の健康法

海岸線・波打ち際に行き、そこで大きく息を吸って吐くことです。海の上は酸素が多いので良いです。それと、趣味を楽しむことです。晩もコソコソと起きて、貝殻を眺めて色々考えたりするのが元気の源になります。

### 問 思い出

炭鉱で働いていて、何でもしていました。石炭を積んで運んだりとかです。石炭は普通に捨てたりするのではなく、道路舗装の時にタールに混ぜるとキラキラと光る素材になります。

### 問 若い世代へ伝えたいこと

一番は、やはり戦争をしないこと。良いことが一つもなく、自然も何も無くなってしまうからです。絶対にしてはなりません。

### 問 町へのメッセージ

苓北町の観光面でのPRをもっとしてほしいです。資料を作ったりする時は、絵よりも写真で白黒よりもカラーに拘ってもらいたいので、専門の写真家がいてほしいですね。「記録に残す」ということでは写真が一番で、色褪せず後々にも残るからです。



▲まるでマリアの姿が浮かぶ様



お気に入りの収集作品 ▶